



模擬選挙体験 in 米田小 ～主権者教育～

7月11日(木)、6年生が、主権者教育の一環として、体育館で模擬選挙体験を実施しました。6年生は、1学期、社会科で主に「公民」分野の学習を行い、政治や憲法、選挙などについて学習しました。国民の選挙権が18歳まで引き下げられましたが、若い世代の投票率が低いことは社会的課題のひとつとなっています。そこで、小学校段階から、数年後の本格的な社会参画に向けて、体験を通して選挙についての理解を深め、適切な投票行動へ繋がるよう意識を高めていきたいというねらいを持って実施をしました。模擬選挙では3人の先生が候補者となり、“読み聞かせ”についてそれぞれが公約を述べました。そして、子どもたちはその演説を聞き、だれが「読み聞かせ大臣」にふさわしいのかを考えて投票しました。実際の選挙の流れや仕組みを知るとともに、選挙は単なる人気投票ではなく、公約を通して候補者の考えをしっかりと聞き、自ら判断して投票することが大切であることを体験を通して学びました。当日は、高砂市選挙管理委員会から実際に選挙で使われている投票箱や記載台などを借りてきました。また、スタディサポーターのお母さん方に手伝っていただき、投票の受付事務や開票作業など、本番さながらに行いました。子どもたちにとって、実践的に選挙について学べる良い機会になりました。



税金について学ぶ ～租税教室～

7月9日(火)、加古川納税協会の職員にお越しいただき、6年生が租税教室を行いました。様々な税金の種類やその使われ方について動画を見たり、クイズに答えたりしながら税金について学んでいきました。子どもたちにとって税金といえば「消費税」は身近ですが、その他にも所得税、法人税、相続税、酒税、自動車税など、現在、約50種類の税金があることを知ってたいへん驚いていました。主権者としてこれから社会を担っていく子どもたちが、税金について知っておくことは大切な学習のひとつです。



米田こども園で造形遊び交流！ ～幼小連携交流活動～

7月4日(木)、3年生と1年生の子どもたちが、米田こども園の園児と造形遊びを通じて交流しました。こども園の駐車場のアスファルトに水で消えるクレパスやろうせきを使って思い思いに絵を描いて交流しました。児童と園児の共同制作で長い線路や電車、天の川、大きなぼっくりんもできあがりました！

